

# 避難所運営ゲーム

# HUG (ハグ) 体験会@新宿

託児あり

小さいお子さんの  
いるご家庭も  
ご参加ください!

## 災害避難所の運営を体験してみませんか。

(避難所運営ゲーム) HUG は避難所の運営を体験できるゲームです。町会・自治会の方はもちろん、地域の一般のみなさんも、この機会にぜひ HUG で避難所の運営を体験してみてください。

9月3日(土) 13:30~16:30 (受付は 13:15 から)

榎町地域センター 5F 多目的ホール

参加費：500 円

参加者：20 名まで (高校生以上)

申し込み：ウェブまたはメールにて

<http://www.skill-boat.org/hug>

[skillboat.waseda@gmail.com](mailto:skillboat.waseda@gmail.com)

メールの場合はタイトルを「HUG 申し込み」とし、本文に

①申込者の氏名、②参加者全員の氏名、③合計人数を明記してください

ボランティアによる託児あり

無料・3 歳以上の未就学児 10 名まで (ウェブからお申し込みください)

飯田基晴氏によるショート・トークあり

(映画「逃げ遅れる人々 東日本大震災と障害者」監督)

主催：スキルボート早稲田

後援：新宿区 助成：新宿区地域協働事業



ウェブ申込



メール申込

震災などの大規模災害が起きたとき、避難を余儀なくされた人々が頼りにするのは避難所です。新宿区では小中学校が一次避難所として指定されており、町会や自治会が中心となってこれを運営することになっています。

では、実際に災害の当日、避難所では何が起ころのでしょうか。

避難所には、高齢者、乳幼児のいる家族、妊婦さん、帰宅困難者、さまざまな人たちが集まってきます。ペット連れの人もいるでしょう。インフルエンザなどの感染症にかかっている人がいるかもしれません。また、不幸にもご家族を失ってしまった人も…。

運営者は、次々とやってくる人々に、待たなしで対応しなければいけません。避難者同士のトラブルや思いがけない出来事が起きることもあります。しかし、運営者も地域の一住民。避難所運営の経験者はほとんどいないはず。だからこそ、私たちには必ず来るであろう「その日」のために、「その日」のことを仮想体験しておく必要があります。

(避難所運営ゲーム) HUG は、災害対策先進県である静岡県が考案した避難所の運営を体験できるゲームです。

プレイヤーは避難所の見取り図を囲んで、読み上げられる「避難者」カードと「出来事」カードに、どう対応するかを瞬時に判断しなければなりません。だれをどの部屋に避難させるか。避難者から出る要望にどう対応するか。運営者として適切な判断が必要となるのです。ゲームが終わったときには、おそらく多くの反省が残ることでしょう。その反省をプレイヤーが語り合うことがこのゲームの狙いです。

お問い合わせ：スキルボート早稲田 (千野)  
[skillboat.waseda@gmail.com](mailto:skillboat.waseda@gmail.com) | 080-5034-3904  
(お電話の場合は 19:00 から 23:00 にお願いします)



昨年の体験会の様子



使用する HUG カード

榎町地域センター (新宿区早稲田町 85 番地)  
東京メトロ東西線・早稲田駅 1 番出口 徒歩 7 分 | 都バス「白 61」榎町特別出張所前 徒歩 1 分

